

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・複合機で不要となったトナーは、専門業者に引き取りを依頼し適正に処分を行っている。 ・化学物質管理責任者・保護具管理責任者を選任し、適切に管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社内にデマンドを設置し、電気使用量の把握し、削減に取り組んで入る。 ・空調の設定温度等により電六使用料を削減している。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・デマンド装置を導入し、月間のCO2排出量を把握している。 ・デマンドコントロールにて電力の使い過ぎを制御し、省エネを促進している。 ・社用車にハイブリッド車を導入、また従業員に向けてもCO2削減への啓発活動を行っている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、生物多様性保全に取り組んでいる。 ・主力商品の粗品入れ袋を、バイオマス原料のものへ順次仕様変更している。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内資料など、ペーパーレス化を促進している。 ・工場内の資源利用の削減や再利用を推進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・節水を呼び掛けるポスターを掲示し、節水意識の喚起を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙利用や、環境に配慮した製品を積極的に使用している。 ・自社カタログにグリーン購入や環境に配慮した製品の特集ページを作成している。										9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の安全管理】 壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 "伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		再生紙、FSC認証紙の使用、販売を行うことで資源リサイクルや適切で持続的な森林利用を推進している。						6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

